



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月13日

上場会社名 神田通信機株式会社
 コード番号 1992 URL <http://www.kandt.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神部 雅人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 田辺 正行

TEL 03-3252-7731

定時株主総会開催予定日 2020年6月29日 配当支払開始予定日

2020年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	5,944	4.5	234	14.5	300	8.1	195	32.8
2019年3月期	6,225	6.4	204	28.2	278	22.1	290	92.6

(注) 包括利益 2020年3月期 124百万円 (52.9%) 2019年3月期 263百万円 (42.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	81.31		4.9	4.5	3.9
2019年3月期	120.97		7.6	4.0	3.3

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(注) 当社は、2019年11月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	6,688	4,002	59.8	1,665.12
2019年3月期	6,811	3,926	57.7	1,633.39

(参考) 自己資本 2020年3月期 4,002百万円 2019年3月期 3,926百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	213	36	96	999
2019年3月期	162	278	119	1,346

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		60.00	60.00	48	16.5	1.3
2020年3月期		0.00		20.00	20.00	48	24.6	1.2
2021年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00		40.1	

(注) 当社は、2019年11月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割後の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の2020年3月期の1株当たり期末配当金は60円00銭となり、1株当たり年間配当金は60円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,796	8.0	95		62		90		37.44
通期	5,640	5.1	55	76.5	118	60.8	60	69.3	24.96

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期	2,623,227 株	2019年3月期	2,623,227 株
2020年3月期	219,370 株	2019年3月期	219,138 株
2020年3月期	2,403,966 株	2019年3月期	2,404,147 株

(注)当社は、2019年11月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予測値と異なる結果となる可能性があります。詳細は[添付資料]3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(株式分割後の配当及び業績について)

当社は、2019年9月26日開催の取締役会決議により、2019年11月1日付で株式分割(1株を3株に分割)を行っております。

なお、株式分割考慮前に換算した2020年3月期の配当及び連結業績は以下のとおりとなります。

1. 2020年3月期の配当

1株当たり配当金 期末 60円00銭

2. 2020年3月期の連結業績

1株当たり当期純利益 通期 243円93銭

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、自然災害発生の影響や、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、永年にわたり培った情報・通信・映像事業の技術力に加え、照明制御業界内において、社会に適合したソリューションビジネスを着実に展開してまいりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は59億44百万円(前年同期比4.5%減)となり、営業利益は2億34百万円(前年同期比14.5%増)、経常利益は3億00百万円(前年同期比8.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1億95百万円(前年同期比32.8%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 情報通信事業

従来のネットワークインフラの設計・提案・構築、自社ブランドパッケージソフトの提案、販売及びハード、ソフトのサポートサービスに加えて、「働き方改革」をキーワードとした、お客様の問題解決につながるソリューション提案を積極的に展開いたしました。

しかしながら、大型案件の売上減少等により、当セグメントの売上高は51億75百万円(前年同期比11.9%減)、営業利益は1億55百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

② 照明制御事業

DALI制御による照明制御システムの設計・販売・施工を軸として、大型テナントビルや大手IT企業、ホテルを中心にビジネスを展開いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は7億6百万円(前年同期比150.6%増)となり、営業利益は42百万円(前年同期比332.3%増)となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産の賃貸を事業としており、土地の売却に伴う賃貸収入の減少等により、売上高は62百万円(前年同期比6.9%減)、営業利益は37百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は66億88百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億22百万円減少しました。これは主に、現金・預金が4億46百万円減少し、受取手形・完成工事未収入金等が1億70百万円増加したこと等によります。

当連結会計年度末の負債は26億86百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億98百万円減少しました。これは主に、支払手形・工事未払金等が1億81百万円減少したこと等によります。

当連結会計年度末の純資産は40億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して75百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が1億47百万円増加したこと等によります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は9億99百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の使用した資金は2億13百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益3億23百万円等の増加要因があった一方、売上債権の増加1億68百万円、仕入債務の減少1億81百万円等の減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は36百万円となりました。これは主に定期預金の払戻による収入5億86百万円等の増加要因があった一方、定期預金の預入による支出4億86百万円、投資有価証券の取得による支出1億4百万円等の減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は96百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出48百万円によるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による、不透明な経営環境が続くものと予想されます。このような環境において、当社は、情報通信事業ではMGW（マルチゲートウェイ）を積極的に推進し、ネットワークに繋がる全ての機器を制御するエンジニアリング会社を目指します。また、中長期的には、ローカル5Gのインフラ構築を担えるよう、いち早く技術の習得を行います。照明制御事業では演出系の調光をさらに伸ばしていきます。

次期の見通しにつきましては、売上高は56億40百万円を予定しております。また、利益につきましては、営業利益55百万円、経常利益1億18百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は60百万円を予定しております。

なお、新型コロナウイルスによる当社グループへの影響は不透明であります。次期見通しは、新型コロナウイルスが第1四半期で収束に向かうことを前提としており、第2四半期からの業績回復を見込んでおります。しかし、従来型の生活や消費には回帰せず、新しい非対面型のビジネスの展開の不透明さと、今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況や収束時期によっては、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。業績見通しの修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

当社グループは、従業員の健康と安全確保を最優先とし、感染防止策を徹底したうえで、業務の省力化・効率化により生産性と働き方の改革を推進し、競争力の強化に努めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、また海外からの資金調達の必要性が乏しいことから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては、特に、当社と同じ、東証ジャスダック市場に上場している他社の適用動向等を踏まえた上で、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,808,159	1,361,651
受取手形・完成工事未収入金等	1,797,804	1,967,932
未成工事支出金	204,404	129,249
仕掛品	21,251	83,112
その他のたな卸資産	15,058	17,107
その他	80,574	91,086
貸倒引当金	△1,790	△1,835
流動資産合計	3,925,461	3,648,303
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	326,637	319,932
土地	1,422,508	1,422,508
建設仮勘定	6,918	6,918
その他（純額）	15,146	18,354
有形固定資産合計	1,771,210	1,767,714
無形固定資産	10,840	56,991
投資その他の資産		
投資有価証券	939,883	945,828
繰延税金資産	10,407	10,183
その他	167,822	267,300
貸倒引当金	△14,169	△7,449
投資その他の資産合計	1,103,944	1,215,863
固定資産合計	2,885,996	3,040,570
資産合計	6,811,458	6,688,873

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,036,602	854,635
短期借入金	190,000	190,000
未払法人税等	109,358	94,114
賞与引当金	151,260	157,350
役員賞与引当金	17,830	18,777
受注工事損失引当金	3,771	—
その他	383,286	347,736
流動負債合計	1,892,109	1,662,615
固定負債		
リース債務	40,271	120,809
繰延税金負債	20,379	11,507
退職給付に係る負債	880,680	833,943
役員退職慰労引当金	29,640	35,722
その他	21,555	21,575
固定負債合計	992,527	1,023,557
負債合計	2,884,636	2,686,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,310,825	1,310,825
資本剰余金	1,087,084	1,087,084
利益剰余金	1,359,133	1,506,529
自己株式	△131,369	△131,559
株主資本合計	3,625,673	3,772,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,034	229,453
退職給付に係る調整累計額	3,114	367
その他の包括利益累計額合計	301,148	229,821
純資産合計	3,926,821	4,002,700
負債純資産合計	6,811,458	6,688,873

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	6,225,589	5,944,830
売上原価	4,669,630	4,405,523
売上総利益	1,555,958	1,539,306
販売費及び一般管理費		
役員報酬	108,159	117,723
従業員給料手当	575,474	524,900
賞与引当金繰入額	84,884	87,846
役員賞与引当金繰入額	17,830	18,777
退職給付費用	39,522	33,898
その他	525,237	521,622
販売費及び一般管理費合計	1,351,108	1,304,768
営業利益	204,850	234,538
営業外収益		
受取配当金	20,852	22,567
受取手数料	41,562	43,759
貸倒引当金戻入額	—	7,000
その他	14,336	8,873
営業外収益合計	76,751	82,201
営業外費用		
支払利息	2,854	2,565
関係会社株式評価損	—	13,000
売上割引	186	157
その他	372	314
営業外費用合計	3,412	16,037
経常利益	278,188	300,702
特別利益		
固定資産売却益	41,519	—
投資有価証券売却益	—	22,938
特別利益合計	41,519	22,938
税金等調整前当期純利益	319,707	323,640
法人税、住民税及び事業税	117,525	114,656
法人税等調整額	△88,644	13,506
法人税等合計	28,881	128,163
当期純利益	290,827	195,477
親会社株主に帰属する当期純利益	290,827	195,477

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	290,827	195,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,729	△68,580
退職給付に係る調整額	5,356	△2,746
その他の包括利益合計	△27,372	△71,326
包括利益	263,454	124,150
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	263,454	124,150

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,310,825	1,087,084	1,108,377	△131,178	3,375,108
当期変動額					
剰余金の配当			△40,071		△40,071
親会社株主に帰属する当期純利益			290,827		290,827
自己株式の取得				△190	△190
自己株式の処分					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	250,755	△190	250,564
当期末残高	1,310,825	1,087,084	1,359,133	△131,369	3,625,673

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	330,763	△2,242	328,520	3,703,629
当期変動額				
剰余金の配当				△40,071
親会社株主に帰属する当期純利益				290,827
自己株式の取得				△190
自己株式の処分				-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△32,729	5,356	△27,372	△27,372
当期変動額合計	△32,729	5,356	△27,372	223,192
当期末残高	298,034	3,114	301,148	3,926,821

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,310,825	1,087,084	1,359,133	△131,369	3,625,673
当期変動額					
剰余金の配当			△48,081		△48,081
親会社株主に帰属する当期純利益			195,477		195,477
自己株式の取得				△189	△189
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			147,395	△189	147,206
当期末残高	1,310,825	1,087,084	1,506,529	△131,559	3,772,879

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	298,034	3,114	301,148	3,926,821
当期変動額				
剰余金の配当				△48,081
親会社株主に帰属する当期純利益				195,477
自己株式の取得				△189
自己株式の処分				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△68,580	△2,746	△71,326	△71,326
当期変動額合計	△68,580	△2,746	△71,326	75,879
当期末残高	229,453	367	229,821	4,002,700

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	319,707	323,640
減価償却費	27,968	37,115
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18,313	△6,674
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,870	6,090
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,170	947
受注工事損失引当金の増減額 (△は減少)	3,771	△3,771
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	27,519	△50,694
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,082	6,082
受取利息及び受取配当金	△22,894	△24,512
支払利息	2,854	2,565
固定資産売却損益 (△は益)	△41,519	—
関係会社株式評価損	—	13,000
投資有価証券売却益 (△は益)	△1,144	△23,426
売上債権の増減額 (△は増加)	56,894	△168,112
たな卸資産の増減額 (△は増加)	283,294	11,244
仕入債務の増減額 (△は減少)	△531,705	△181,967
未払消費税等の増減額 (△は減少)	63,891	△17,050
その他の資産の増減額 (△は増加)	20,042	△2,375
その他の負債の増減額 (△は減少)	26,456	△30,670
その他	79	—
小計	224,286	△108,569
利息及び配当金の受取額	24,094	25,711
利息の支払額	△2,697	△2,921
法人税等の支払額	△82,873	△127,909
営業活動によるキャッシュ・フロー	162,810	△213,688
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△486,687	△486,688
定期預金の払戻による収入	86,686	586,687
有形固定資産の取得による支出	△69,882	△31,115
有形固定資産の売却による収入	173,804	—
無形固定資産の取得による支出	△2,500	△51,610
投資有価証券の売却による収入	4,004	31,316
投資有価証券の取得による支出	△4,404	△104,563
リース投資資産の回収による収入	49,677	47,997
差入保証金の差入による支出	△21,802	△1,023
差入保証金の回収による収入	4,412	1,262
関係会社株式取得による支出	—	△40,000
貸付けによる支出	△5,000	—
貸付金の回収による収入	4,176	15,841
その他の支出	△10,657	△4,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△278,173	△36,154
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30,000	—
リース債務の返済による支出	△49,586	△48,974
配当金の支払額	△39,630	△47,527
自己株式の取得による支出	△190	△189
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,407	△96,692
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△234,770	△346,534
現金及び現金同等物の期首残高	1,581,236	1,346,466
現金及び現金同等物の期末残高	1,346,466	999,940

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は、事業の内容により、「情報通信事業」、「照明制御事業」、「不動産賃貸事業」の3つの事業を報告セグメントとしております。

「情報通信事業」はネットワークインフラの設計・提案・構築、自社ブランドパッケージソフトの開発と販売、一般企業・社会福祉法人向け等のシステム開発及びハード、ソフトのサポートサービスを行い、「照明制御事業」は国際標準規格DALI制御の「S I e r」としてのポジションを活かし、社会に適合したソリューションビジネスを行い、「不動産賃貸事業」は所有不動産の賃貸を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	情報通信事業	照明制御事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,875,968	281,955	67,665	6,225,589
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	5,875,968	281,955	67,665	6,225,589
セグメント利益	154,552	9,806	40,491	204,850
その他の項目				
減価償却費	18,691	581	8,695	27,968

(注) 1.セグメント利益の合計は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。また、減価償却費の合計は、連結財務諸表計上額と一致しております。

2.セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載していません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	情報通信事業	照明制御事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,175,288	706,573	62,969	5,944,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	5,175,288	706,573	62,969	5,944,830
セグメント利益	155,003	42,393	37,140	234,538
その他の項目				
減価償却費	27,037	1,964	8,114	37,115

(注) 1.セグメント利益の合計は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。また、減価償却費の合計は、連結財務諸表計上額と一致しております。

2.セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載しておりません。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,225,589	5,944,830
セグメント間取引消去	—	—
財務諸表の売上高	6,225,589	5,944,830

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,633.39円	1,665.12円
1株当たり当期純利益金額	120.97円	81.31円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	290,827	195,477
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額 (千円)	290,827	195,477
普通株式の期中平均株式数 (千株)	2,404	2,403

(重要な後発事象)

該当事項はありません。